

新型コロナウイルス感染防止対策（大会期間中）

大会会場の感染対策のガイドラインを遵守してください。

次に該当する場合は参加をお控えください。

- ・直近 14 日以内に発熱や風邪の症状（鼻水、咳、喉の痛み等）、倦怠感、嗅覚・味覚等の異常があった場合。
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
- ・直近 14 日以内に感染リスクの高い地域から移動してきた場合手洗い・手指消毒等の徹底をお願いします。
- ・参加者、帯同者の皆様には事前に「体調チェックシート」を印刷、記入したうえで、当日受付時にご提出ください。受付の際も検温をします。
- ・参加者から新型コロナウイルスの感染が確認された場合、連絡をさせていただき、行動履歴を確認することがありますので、大会当日から 2 週間前の行動履歴は必ず残しておいてください。
- ・マスク、タオル（手洗い後の手拭き用）を持参してください。
- ・厚生労働省が公表している「新しい生活様式」の実践例を踏まえ、可能な限り、密集する機会を減らす工夫をしながら参加してください。
- ・本大会ガイドラインのほか、日本トリアスロン連合、日本スポーツ協会など（HP 掲載）が発信しているガイドライン等についてもご参照の上、各自感染防止対策をお願いいたします。
- ・ハイタッチ、同伴ゴール等の不用意な接触、大声や掛け声など飛沫感染を避けてください。
- ・応援、休憩、待機の際は、必ずマスクを着用してください。ただし人と十分な距離（少なくとも 2m 以上）が確保できる場合は、マスクを外すことも可とします。
- ・テント、待機場所で食事・懇談等をするときには、対面を避け、横並びで座るように心掛けてください。
- ・感染拡大防止の観点から、応援される人同士の間隔を空け、人と十分な距離（少なくとも 2m 以上）をとって応援をお願いします。
- ・参加者の利用する場所（トイレや更衣室等）、応援エリア等をスタッフが巡回します。
- ・スタッフはマスク等を着用します。
- ・使用済みマスクはプール、陸上競技場のゴミ箱で廃棄せず、持ちかえる又は回収用ゴミ袋へ入れて下さい。
- ・トイレ、更衣室等を利用する際は、次の事項に留意してください。
 - 入退室時の手洗い・手指消毒を徹底する。換気に配慮し、多人数での利用は控える。
 - 受付に消毒液を設置しますので、受付前にか各自手の消毒をお願いします。
 - 他人と共有する用具、部分等（トイレの出入口のドアノブなどの手の触れる部分）は適宜、大会スタッフが消毒を実施します。

新型コロナウイルス感染防止対策（競技中）

【スイム】

- ・選手は、プール内（待機中）はマスクをつけ、ソーシャルディスタンスを確保して準備を行う。（スタート前にスタッフが回収）施設のゴミ箱には入れないで下さい。
- ・直前で飲食したものは、自分で処理をする。プールサイドへの飲み物の持ち込みは OK です。必ずレース後に自分のものを取りに来て下さい。

【トランジションエリア】

- ・トランジションエリアでセットする際は、マスクを着用する。
- ・他人との道具の貸し借りはしない。

【ラン】

- ・選手は、4 m未満の距離で他の選手の真後ろ（前後）を走ることがないように心がける。

【エイドステーション】

- ・ランコース上のエイドステーションは、セルフサービス型とする。

【フィニッシュ】

- ・フィニッシュ時の同伴は禁止とする。
- ・フィニッシュ後は、タイミングチップを各自で取り外し、回収ボックスに選手自ら入れる。
- ・提供物を受け取ったら、速やかにフィニッシュエリアから出る。
- ・フィニッシュした選手の関係者は、緊急事態以外はフィニッシュエリアに集まらない。
- ・全てのリカバリステーションは、基本的にセルフサービスとする。
- ・ゴール後、プール更衣室に戻る際にマスクの着用をお願いいたします。ゴール付近に使い捨てマスクを準備していますので、ご利用ください。

【メディカル】

- ・体調不良等があれば、メディカルテント（競技場内に設置）で対応をする。
- ・大きな体調変化があった場合は、すぐに帰宅してもらうことがある。

【セレモニー】

- ・表彰を受ける選手は、マスク着用で登壇し、選手間を空ける。写真撮影時はマスクを外しても構わない。
- ・選手同士、プレゼンターとの握手またはハグはしない。

競技ルール（アクアスロン）

国際トライアスロン連合（ITU）競技規則、（公社）日本トライアスロン連合（JTU）競技規則、大会ローカルルールを適用します。

https://www.triathlon.org/uploads/docs/itusport_competition-rules_2019.pdf

http://www.jtu.or.jp/jtu/pdf/JTU_COMPETITIONRULES_20190207.pdf

【スイム】

- ・ 集合場所は、スイムスタート地点とし、10分前集合とする。
- ・ スイムスタートは、ウェーブスタートとする。
- ・ スタートはプール内から行うこと。（飛び込み禁止）
キッズ部門については、浮力を得るもの（ヘルパー、アームフローター）もしくはビート板の使用を認める。ただし、推進力を得るもの（パドル、フィン等）は認めない。ビギナー・エイジについては、ウェットスーツ、ラッシュガードの着用を認める。
- ・ コースロープをつたって進むことを禁じる。ただし、安全確保のためにコースロープをつかんでの小休止は認める。
- ・ コース内は安全確保のための最低限の歩行を認める。
- ・ スイムキャップは配布されたものを必ず着用すること。
- ・ ターンはタッチターンとし、クイックターンを禁止とする。
- ・ ワセリン等の薬剤使用は禁止とする。
- ・ 室内プールサイドは、絶対に走らない。室内プールを出たあとは転倒に気をつけて、トランジションへ移動してください。

【トランジション】

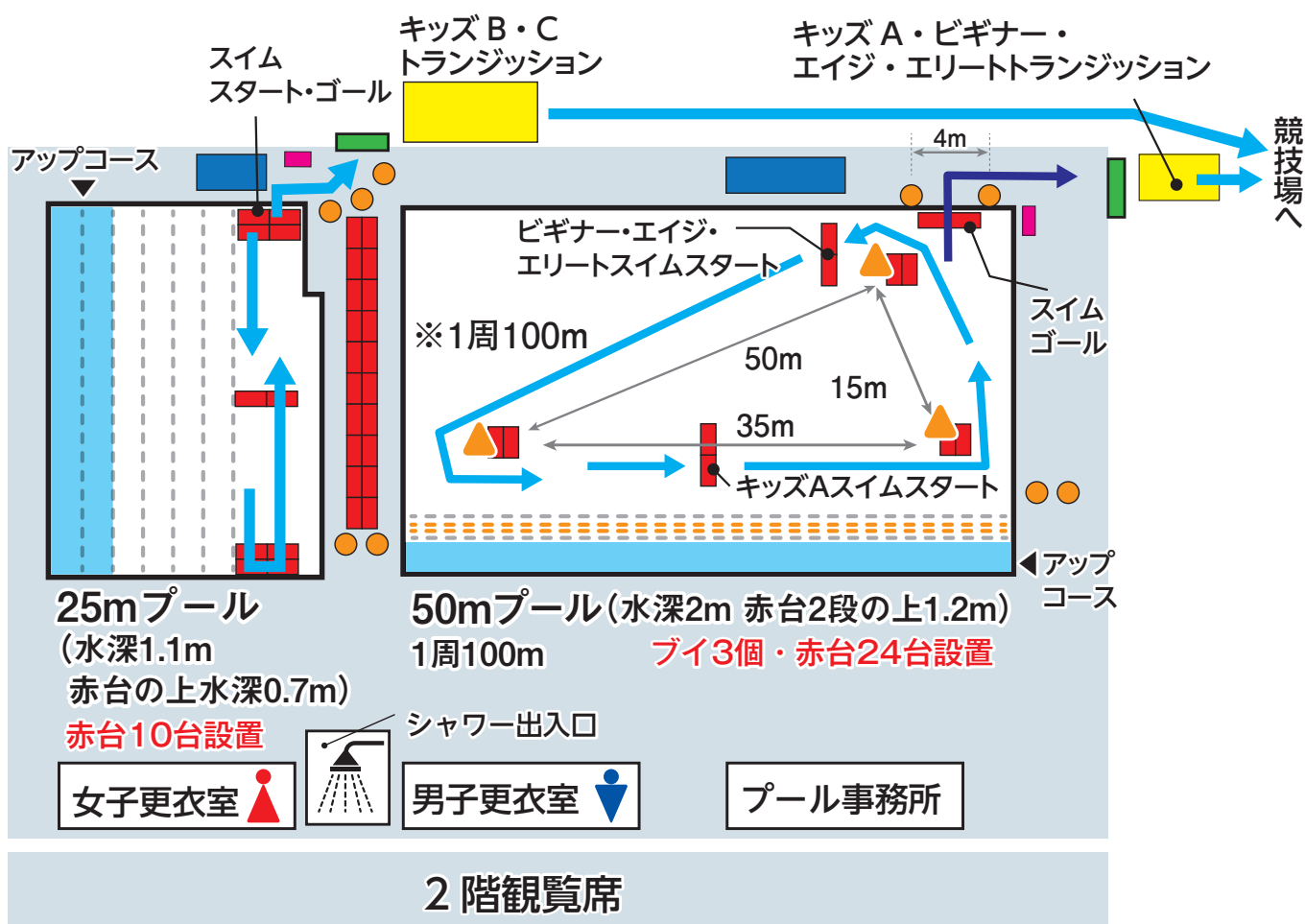
- ・ 指定された場所に設置されているカゴに、自分のシューズ、ランニングウエアなどを入れておく。競技前の用具をカゴの前に置くことは認める。スイム競技後のキャップ、ゴーグルは、トランジションのカゴの中に必ず入れること。
- ・ ナンバーベルトを使用する場合はナンバーベルトにレースナンバーを取り付け、ランの時は正面にレースナンバーがみえるようにして競技を行うこと。また、レースナンバーベルトの代替えとして、幅の広いゴム紐などをベルトにすることも許可する。
- ・ レース終了後は、トランジションエリアの道具を取りにくること。（取り忘れた場合は大会事務局にて保管する。）

【ラン】

- ・ レースナンバーは、ランの時は胸付近に付けて競技を行うこと。
- ・ トラックの1レーンを走るようにし、追い越す選手は抜く選手の右側から追い抜くこと。
- ・ ランはTシャツ、トライスーツなどを必ず着用し、上半身裸、はだしでの競技は禁止とする。
- ・ 周回ボードのカウントは先頭の選手のみとし、周回チェックは自己責任とする。ただし、家族などの応援者がカウントすることを許可する。また、指定された場所に輪ゴムを用意するので、カウントの際に使用することは可能。
- ・ コロナの感染防止対策より同伴でのフィニッシュは不可とする。
- ・ エイドステーションは1箇所設置する（セルフ）。十分な水分補給をすること。
- ・ フィニッシュは笑顔で!!

競技カテゴリー

カテゴリー		スイム		ラン	
エリートの部	(中学生以上)	400m	50m プール 4 周	4.0km	競技場トラック 10 周
エイジの部	(中学生以上)	300m	50m プール 3 周	3.2km	競技場トラック 8 周
ビギナーの部	(中学生以上)	200m	50m プール 2 周	2.4km	競技場トラック 6 周
キッズ A	(小学 5・6 年生)	150m	50m プール 1.5 周	1.6km	競技場トラック 4 周
キッズ B	(小学 3・4 年生)	100m	25m プール 2 往復	1.2km	競技場トラック 3 周
キッズ C	(小学 1・2 年生)	50m	25m プール 1 往復	800 m	競技場トラック 2 周



- 赤台設置場所
- 招集場所
- トランジッションへの出入口
- ※50mプールの赤台は2段重ね
- コーン設置
- ブイ設置
- トランジッション
- めがね置き場

室内プールサイドで走ることは禁止です。室内プールを出たあとは転倒に気をつけてトランジッションへ移動してください。



- ※出場選手は受付前にナンバーリングを完了して下さい。
- ※受付は陸上競技場内です。
- ※開会式は陸上競技場で 8 時 45 分より行います。

